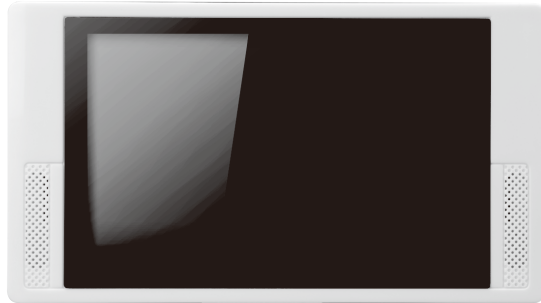
GREEN HOUSE™

電子POP

取扱説明書

GH-EP7RAW シリーズ

はじめに

設置の手順

内容物を確認します。
（1 ページ）

本取扱説明書に書かれている「安全上のご注意」「使用上のお願い」「対応外部メモリーについて」「ファイルについて」をよく読みます。（3 ～ 14 ページ）

「電子POPの設置方法」をよく読み、本製品を設置してください。
（17 ～ 21 ページ）

現在の日付と時間を設定します。
（26 ページ）

「使用方法」をよく読みます。
（22 ～ 37 ページ）

再生します。

内容物の確認

パッケージの中に以下のものがすべてそろっている事をご確認ください。

□GH-EP7RAW 本体	1台
□専用リモコン	1個
□メモリー盗難防止カバー（ネジ・ワッシャー付き）	1個
□AC プラグ抜け落ち防止金具（ネジ・ワッシャー付き）	1個
□1年間保証書	1部
□専用 AC アダプタ	1個
□リモコン用ボタン電池 型番：CR2025 (3V)	1個
□専用ステー (ネジ付き)	1台
□取扱説明書 (本書)	1部

目次

安全上のご注意

安全に正しくご使用いただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、人の被害やものの損害を未然に防ぐための重要な内容を記載しています。
次の内容をよく理解してから本文をお読みになり、注意事項をお守りください。

■表示の説明

この表示の注意事項を守らないと、死亡したり、重症を負うおそれがあります。

この表示の注意事項を守らないと、ケガをしたり、ものに損害を与えるおそれがあります。
なお、この表示の注意事項や、ここに示していない本文中の注意事項でも、状況によっては、死亡したり、重症を負うおそれがあります。
必ず、ここに示す安全上のご注意をお守りください。

■絵表示の例

行為を禁止する絵表示

禁止

この絵表示は、行為を禁止する内容を示しています。
(左図の場合、「禁止」を示しています。)

注意をうながす絵表示

注意

この絵表示は、注意をうながす内容を示しています。
(左図の場合、「注意」を示しています。)

行為を指示する絵表示

コンセントから
プラグを抜く

この絵表示は、行為を指示する内容を示しています。
(左図の場合、「コンセントからプラグを抜く」を示しています。)

警告　異常が発生した場合

コンセントから
プラグを抜く

煙が出たら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。煙が出なくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

発熱したら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。発熱がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異臭がしたら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異臭がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

異音がしたら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。異音がなくなったことをご確認の上、ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

落下や衝撃により破損したら、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

コンセントから
プラグを抜く

水や異物が内部に入ったら、すぐに電源を切り、ACアダプタをコンセントから抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の危険があります。ご購入店、または弊社テクニカルサポートへご連絡ください。

※地震や津波、地すべりなどの災害が発生するおそれがある場合、まずは、身の安全を確保してください。

警告　電源について

AC100V以外使用禁止	AC アダプタは、100 ボルト交流電源 (AC100V) のコンセントにしっかり差し込んでご使用ください。 日本国外の商用電源や船舶などの直流電源でご使用になると故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
定期的にプラグを掃除	電源プラグは、定期的に掃除を行ってください。 電源プラグやコンセントにゴミやホコリがたまるとショートの原因となり、火災の危険があります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやホコリを取り除いてください。
コンセントからプラグを抜く	電源プラグのお手入れは、AC アダプタをコンセントから取り外して行ってください。 電源プラグをコンセントに差し込んだままお手入れを行うと、感電の危険があります。
定格超過禁止	コンセントや延長ケーブル、OA タップなどの定格を超えてご使用にならないでください。 タコ足配線などによって定格を超えると、火災や感電の危険があります。
コード傷つけ禁止	AC アダプタのコードは、傷つけないでください。 ものをのせたり、引っぱったり、ねじったりなど、無理に取り扱うとコードが傷つき、火災や感電の危険があります。

⚠警告　電源について

落雷時は触れない	落雷のおそれがある場合、製品に触れないでください。 感電の危険があります。
濡れた手で触れない	濡れた手で電源プラグに触れないでください。 感電の危険があります。
破損コンセント使用禁止	破損したコンセントをご使用にならないでください。 コンセントに電源プラグをしっかり差し込んでも、ゆるみがあると、火災や感電の危険があります。破損したコンセントではない、別のコンセントでご使用ください。
コードひっぱり禁止	電源プラグをコンセントに抜き挿しする場合、電源プラグを持ってください。 コードを引っぱると、電源プラグやコード、コンセントが傷つき故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

警告　設置について

不安定な場所に置かない	不安定な場所に置かないでください。 不安定な台や振動のある場所、強度の弱い場所に置くと、落下や転倒の危険があります。
水濡れ禁止	水のかかる場所に置かないでください。 雨や雪の吹き込む窓際、屋外、浴室でのご使用は、水濡れによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
禁止	通気口をふさがないでください。 通気口をふさぐと、内部に熱がこもることによる故障の原因となり、火災の危険があります。
禁止	湿度の高いところに置かないでください。 火災や感電の危険があります。
禁止	異物が浮遊するところに置かないでください。 ホコリや砂、油煙といった異物が内部に入ることによる故障の原因となり、火災や感電の危険があります。
禁止	温度の高いところに置かないでください。 熱器具の近くや直射日光の当たる場所、閉めきった自動車の中など温度の高いところに置くと、高温による故障の原因となり、火災や感電の危険があります。

⚠ 警告　使用について	
 分解や改造禁止	分解や改造をしないでください。 火災や感電の危険があります。
 禁止	子供だけで使用させたり、乳幼児の手の届くところでご使用にならないでください。 感電やケガの危険があります。
 禁止	水や異物を入れないでください。 火災の危険があります。
 禁止	ふんだり、のったり、投げたり、落としたりしないでください。 衝撃による破損の原因となり、火災や感電の危険があります。また、持ち運ぶ場合は、無理に取り扱わないでください。

⚠警告 リモコンについて

指定の電池をご使用ください。
指定外の電池、種類の違う電池や未使用の電池と使用済みの電池を組み合わせてご使用になると、破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、プラス (+)、マイナス (−) の極性に注意してください。

長時間ご使用になられないときは､電池を取り外してください。
使用推奨期限を過ぎたり､使いきった電池を入れたままにすると､破裂､液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。

電池を加熱したり、分解したり、水や火の中に入れないでください。
破裂、液もれの原因となり、火災やケガをする危険があります。また、電池を廃棄する場合は、自治体の指示に従ってください。

電池を、乳幼児の手の届くところに置かないでください。
飲み込むと、障害や中毒の原因となります。

⚠注意　使用について

 コンセントから プラグを抜く	長期間ご使用になられないときは、電源プラグを抜いてください。 電源を切っただけでは常に微弱な電流が流れているため、故障した場合、火災の危険があります。
 適度な音量で 使用する	適度な音量でご使用ください。 音による周囲への影響に配慮し、適度な音量でご使用ください。
 適度な音量で 使用する	イヤホンは、適度な音量でご使用ください。 耳を刺激するような大音量で長時間連続ご使用になると、聴力が損なわれる可能性があります。また、周囲の音が聞こえないと危険な状況下では、ご使用にならないでください。
 禁止	外部メモリーを、乳幼児の手の届くところに置かないでください。 飲み込むと、窒息や障害の原因となります。

使用上のお願い

末永くお使いいただくために

製品の取り扱いについて

●製品の取扱説明書「安全上のご注意」をよくお読みください。
●電源を入れたまま、製品を移動しないでください。
●製品を移動する際は、外部メモリーを取り出し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●電源を入れたまま、電源プラグをコンセントから抜かないでください。

製品のお手入れについて

●お手入れの際は、電源を切り、AC アダプタをコンセントから取り外してください。
●汚れは、やわらかい布で軽くふき取ってください。
●ひどい汚れは、やわらかい布を水にひたし、よくしぼってからふき取ってください。
●化学ぞうきんの使用は、製品を変質させる可能性があります。
●ベンジンやシンナーなど溶剤の使用は、製品を変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●強力な洗剤の使用は、製品を変色させたり、変質させたり、塗装をはがす可能性があります。
●殺虫剤や揮発性のものの使用は、引火の可能性があります。
●ゴムやビニールなどを長時間接触させたままにすると、製品の塗装をはがす可能性があります。
●シールやテープを貼ったままにすると、製品を変色させたり、塗装をはがす可能性があります。

製品の温度について

●密閉空間へ設置しての使用や長時間の使用により、製品が温かくなる場合がありますが、故障ではありません。
●製品の上や近くに、熱で変形しやすいものを置かないでください。
●製品が発熱した場合、すぐに電源を切り、AC アダプタをコンセントから取り外してください。

結露（つゆつき）について

●温度差の激しいところに設置すると、結露が起こる場合があります。
●結露が起こると、正常に動作せず、故障の原因となる可能性があります。
●結露が起こった場合、電源を切り、しばらく放置してください。
●完全に乾燥してから電源を投入してください。
●寒冷地区での使用は、特に結露に注意してください。

磁気や電磁妨害について

●磁気の影響をさけるため、磁石や磁石を使用した機器を、製品に近づけないでください。
●電磁波の影響をさけるため、携帯電話や電磁波を発する機器を、製品に近づけないでください。
●磁気や電磁妨害によって、映像が乱れたり、雑音が発生したり、大切なデータが消失する可能性があります。

しばらく使用しないときは

●使用後は節電のため、電源を切ってください。
●長く使用しない場合、電源プラグをコンセントから抜いてください。
●取扱説明書「仕様」にある動作温度、動作湿度の範囲で保管してください。

外部メモリーの取り扱いについて

●外部メモリーに付属の取扱注意書をよくお読みください。
●保管する際は、静電気や電磁波の発生するところを避けてください。
●端子部に、ゴミやホコリといった異物を付着させないでください。
●折り曲げたり、落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
●液体をかけないでください。
●シールやテープを貼ると、コネクタに抜き差しできなくなったり、コネクタを破損させる可能性があります。

データについて

●記憶媒体に保存したデータは、誤操作や製品の故障によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、磁気や電磁妨害によって消失する可能性があります。
●記憶媒体に保存したデータは、温度や湿度、日射の影響によって消失する可能性があります。
●大切なデータは、他の記憶媒体へのバックアップをお勧めします。
●データの管理は、お客様の責任において行ってください。

免責事項について

●取扱説明書やパッケージの記載に従った使用でない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●落下、衝撃、圧力、負荷といった外的要因による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●火災、地震、落雷、風水害といった自然災害による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の消耗、劣化による故障の場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体に保存したデータが消失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって事業利益を逸失した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●製品の使用にともなって関連装置が故障した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●関連装置との互換性によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。
●記憶媒体やデータの状態によって製品が使用できない場合、弊社は一切の責任を負いかねます。

対応外部メモリーについて

外部メモリーの対応

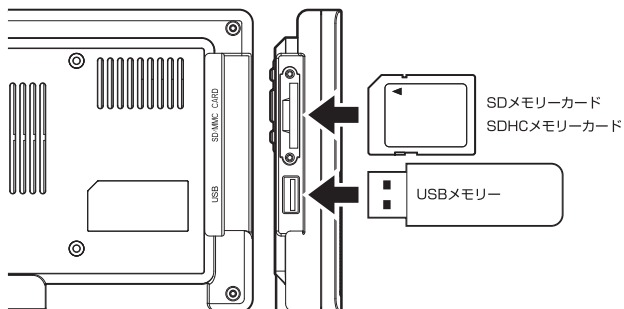
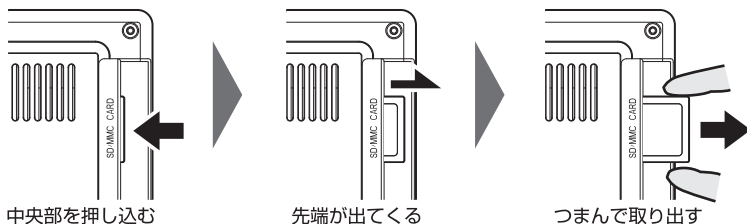
●本書では、「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」を外部メモリーと表記しますので、置き換えてお読みください。

本製品で対応している外部メモリーは次のものがあります。

■通常使用：　SD メモリーカード (2GB)、SDHC メモリーカード (4GB ～ 32GB)
■データ入れ替え用：　USB メモリー (2GB ～ 32GB)

●すべての「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」「USB メモリー」の動作保証をするものではありません。
●SD スピードクラスが Class10 の「SD メモリーカード」「SDHC メモリーカード」には対応しておりません。
●MMC(マルチメディアカード) の動作保証はしておりません。
●SD ロゴ、SDHC ロゴは SD-3C,LLC の商標です。
●microSD カード、microSDHC カードを使用する場合、別途専用アダプタをご使用ください。

外部メモリーの挿入

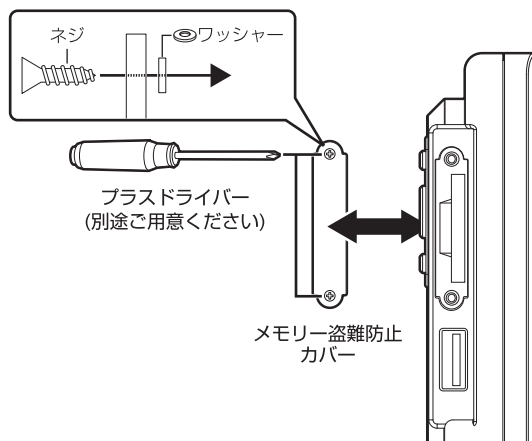
●外部メモリーを挿入する際は、表裏を確認し、下図の向きに挿入してください。

●「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」を取り外す際は、中央部を指で押し込み、出た先端をつまんでゆっくり取り外します。

●「USBメモリー」を取り外す際は、挿し込んだ方向と逆側の方向に引き抜いてください。

※挿入や取り外す際に、無理な力を加えると、外部メモリーや本製品を破損するおそれがあります。

メモリー盗難防止カバー

●メモリー盗難防止カバーを、SDカードスロットに取り付けることで、「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」の盗難を防ぐことができます。

●「SDメモリーカード」「SDHCメモリーカード」を取り外す際は、メモリー盗難防止カバーを取り外してください。

●メモリー盗難防止カバーの取り付け、取り外しには、プラスドライバーが必要になります。別途ご用意ください。

ファイルについて

再生できるファイル

本製品で再生できるファイル形式は以下の通りになります。

画　像：　JPEG
音　楽：　MP3 / WMA※
動　画：　MPEG1 / MPEG2
※WMA Standard V2 のみ対応

●対応形式であっても、すべてのファイル再生を保証するものではありません。

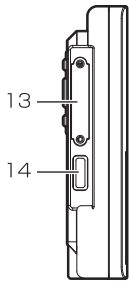
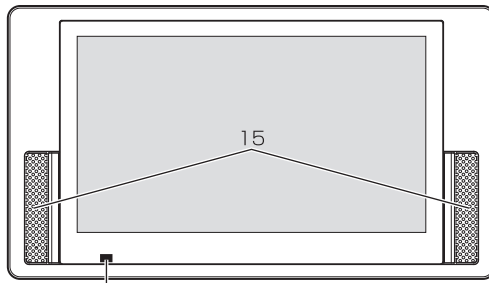
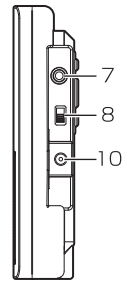
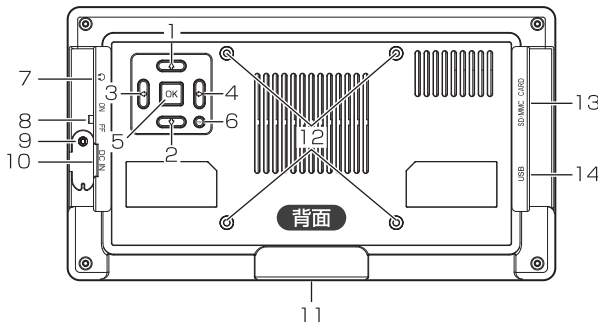
●詳細は「推奨再生ファイル」(P.21) を参照してください。

著作権について

●テレビ、インターネット、CD などから録画･録音したメディアのコンテンツを無断で複製、放送、上演、有線放送、公開演奏、レンタル (有償、無償を問わず) することは法律により禁じられています。

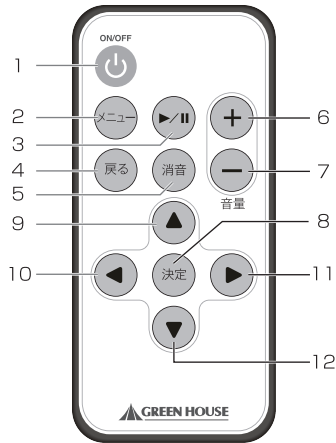
●デジタルカメラなどで撮影した画像データは個人として楽しむなど以外、著作権上権利者に無断で使用できません。

各部のなまえ

各部名称

- 1: … カーソルを上に移動します
- 2: … カーソルを下に移動します
- 3: … カーソルを右に移動します
- 4: … カーソルを左に移動します
- 5: OK … 項目の決定や写真/音楽/動画ファイルを再生します
- 6: ESC … エクスプローラ画面内のカーソルを移動します
- 7: イヤホン端子 … イヤホンやヘッドホンを接続します
- 8: … 電源のオン / オフをします
- 9: 抜け落ち防止金具位置 … ACプラグ抜け落ち防止金具を取り付けます
- 10: DCジャック … 付属の専用ACアダプタを接続します
- 11: ネジ穴(1/4インチネジ) … 1/4インチネジを使用して設置する際に使用します
- 12: ネジ穴(専用ステーなど) … 専用ステーなどを使用して設置する際に使用します
- 13: SDカードスロット … SDメモリーカード、SDHCメモリーカードを挿入します(メモリー盗難防止カバー付き)
- 14: USB A端子 … USBメモリーを接続します
- 15: スピーカー … 音声を出力します
- 16: リモコン受光部(前面) … リモコンからの操作を受信します

●上記は一例です。実行中のメニューによって動作は異なります。
●本製品には品質保持のため液晶画面に保護フィルムが貼られていますので、使用する際は、保護フィルムを剥がしてください。
●「12; ネジ穴 (専用ステーなど)」の規格は M4 で深さ 5.5mm になります。設置方法に応じた長さのネジやワッシャーを別途ご用意ください。(詳細は P.19 を参照してください)

リモコン

1 ： ON/OFF ・・・ 電源のオン / オフをします

2 ： メニュー ・・・ 設定メニューを表示します

3 ： ▶/Ⅱ ・・・ 再生 / 一時停止をします

4 ： 戻る ・・・ 1 つ前の画面に戻ります

5 ： 消音 ・・・ 消音にします

6 ： ＋ ・・・ 音量を上げます

7 ： − ・・・ 音量を下げます

8 ： 決定 ・・・ 項目を決定します

9 ： ▲ ・・・ カーソルが上移動します

10 ： ◀ ・・・ カーソルが左移動します

11 ： ▶ ・・・ カーソルが右移動します

12 ： ▼ ・・・ カーソルが下移動します

●上記は一例です。実行中のメニューによって動作は異なります。

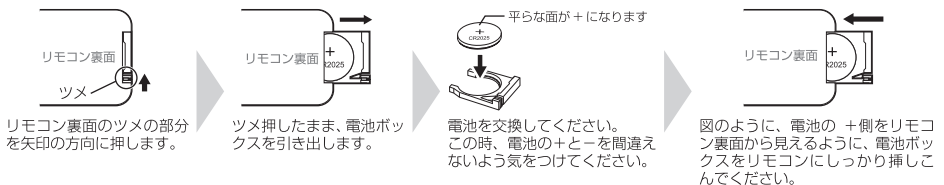
●本製品には品質保持のためリモコンに保護フィルムが貼られていますので、使用する際は、保護フィルムを剥がしてください。

リモコン用電池の交換方法

リモコン裏面のツメの部分を矢印の方向に押します。

ツメ押したまま、電池ボックスを引き出します。

電池を交換してください。
この時、電池の＋と−を間違えないよう気をつけてください。

図のように、電池の ＋側をリモコン裏面から見えるように、電池ボックスをリモコンにしっかり挿しこんでください。

電子POPの設置方法

本項目では電子POPの店頭などでの具体的な設置方法や簡易的な使用方法について解説します。
詳細な使用方法は、使用方法（P.22）をお読みください。

電子POPの設置方法

設置の前に

本製品を設置する前に P.3 ～ P.10「安全上のご注意」、P.11 ～ P.12「使用上のお願い」を必ずお読みください。

盗難防止対策

本項目では店頭 POP として使用する場合の盗難防止対策について紹介します。

メモリースロットカバーをロックする

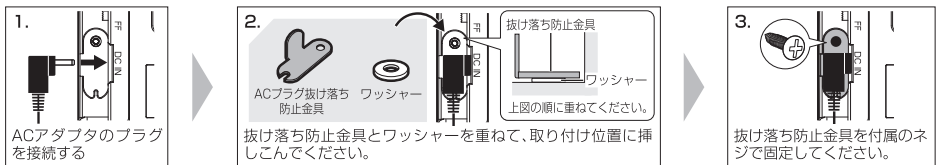
P.15「各部のなまえ」の「13：SD カードスロット」に SDメモリーカードを挿入し、メモリー盗難防止カバーを取り付けてネジをドライバーで固定すると SDメモリーカードの盗難を防止できます。詳しくは P.14 を参照してください。

ACアダプタのプラグを固定する

P.15「各部のなまえ」の「10：DC ジャック」に AC アダプタのプラグを接続後、「9：抜け落ち防止金具位置」に AC プラグ抜け落ち防止金具を取り付けてネジで固定してください。

ACアダプタのプラグを接続する

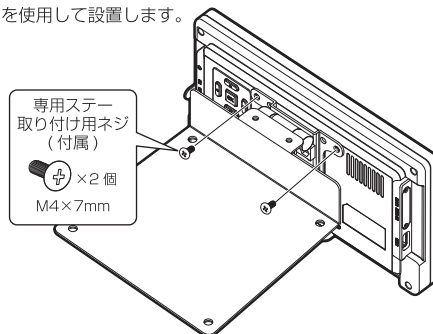
抜け落ち防止金具とワッシャーを重ねて、取り付け位置に挿しこんでください。

抜け落ち防止金具を付属のネジで固定してください。

●ネジを固定するには別途ドライバーを用意してください。

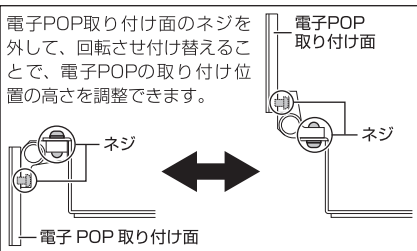
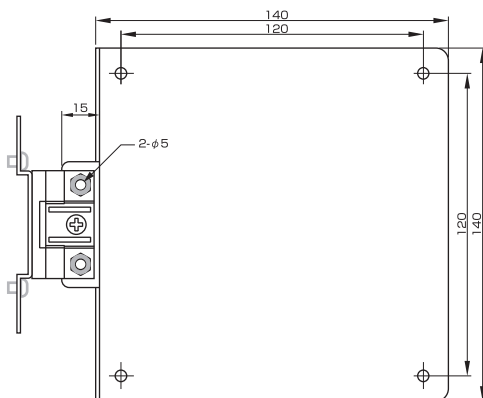
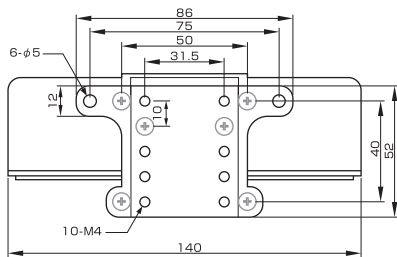
設置器具を使う

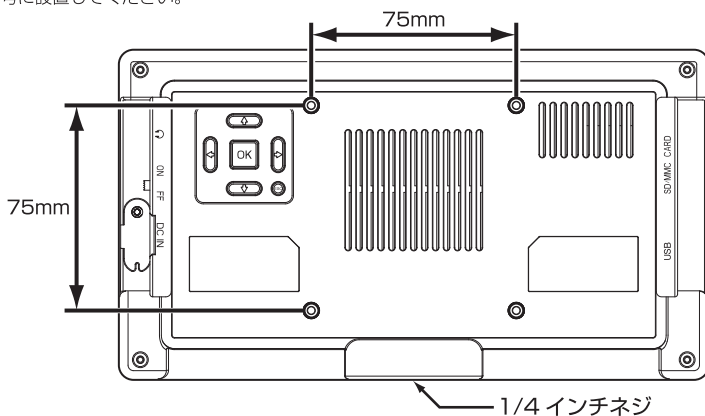
本項目では店頭などで棚や壁面に固定するには取り付け金具について紹介します。

付属の専用ステーを使う

本製品に付属している専用ステーを使用して設置します。

●ネジを固定するには別途ドライバーを用意してください。
●付属の専用ステー取り付け用ネジ(M4×7mm)以外は使用しないでください

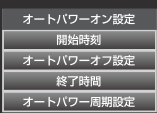
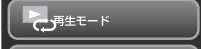
専用ステー寸法図

(単位 mm)

付属品以外の取り付け金具を使用する場合

付属品以外の取り付け金具を使用する場合は、取り付け金具の取扱説明書などをご確認の上、下記の各ネジ穴の寸法を参考に設置してください。

●VESAマウントインターフェース規格（FPMPMI）75mm に対応しています。
●壁掛け穴のネジ穴の規格は M4で深さは 5.5mmまでになります。設置方法に応じた長さのネジやワッシャーを別途ご購入ください。
※上記の「5.5mm」はネジ穴の深さを表す数値です。ネジの長さを表す数値ではありません。設置の際は、間に挟む取り付け金具の厚さなどをご考慮のうえ、ネジの長さを決定してください。

例）厚さ 1.5mm の取り付け金具をご使用の際は、長さ7mmのM4ネジをご用意ください。またワッシャーを挟む際はその厚さも考慮する必要があります。

電子POPの便利な機能

本項では便利な設定を解説します。

便利な機能

動画やスライドショーなどを停止し、リモコンの (メニュー) ボタンを押すとメニュー画面が表示され、各種設定を行えます。
詳しい設定項目や操作方法は P.24「メニュー」を参照してください。

指定時間に電源をオン / オフする

指定時間に自動的に電源をオン / オフすることができます。
具体的な設定方法は「実際に使用する場合の例」(P.30) を参照してください。

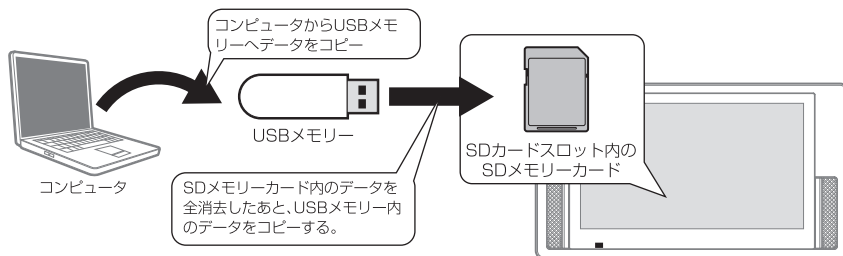
オートパワーオン設定	…	「オフ」「オン」が選択できます。
開始時刻	…	「時間」「分」を設定します。
オートパワーオフ設定	…	「オフ」「オン」が選択できます。
終了時間	…	「時間」「分」を設定します。
オートパワー周期設定	…	「1 回」「毎日」「平日」「週末」が選択できます。

リピート再生について

再生モード (P.28) の出荷値は「動画オールリピート」に設定されています。「動画オールリピート」では動画リストの順番に、動画ファイルを再生し続けます。

- 電源をオフにし、再度電源をオンにした場合、動画リストの一番上のファイルから再生されます。レジューム機能はありません。
- 動画ファイル、静止画ファイルを組み合わせてしたい場合は、再生モード (P.28) で「ミックス再生」か「プログラム再生」を選択してください。

USBメモリーを使用して SDメモリーカード内のデータを入れ替える

USBメモリーを使用して、SDメモリーカード内のデータを取り出すことなく入れ替えることができます。
詳しくは「USBメモリーでデータを入れ替える」(P.37) を参照してください。

- USBメモリーは別途ご用意ください。
- SDメモリーカード内のデータは、入れ替え前に全消去されます。消去したくないデータがある場合、データのバックアップを行ってください。
- USBメモリー内の入れ替え用データは、ご使用する SDメモリーカードの容量を超えないようにしてください。
- データを入れ替えた際の動画リストの順は、SDメモリーカードと同じく USB メモリーにファイルをコピーした順になります。詳細は「■動画ファイルを SDメモリーカードへコピーします」(P.31) を参照してください。

推奨再生ファイル

動画ファイルの場合

動画形式	MPEG2
動画解像度	720×408
動画ビットレート	4Mbps
フレームレート	29.97fps
音声形式	MP2（MPEG-1 Audio LayerⅡ）
音声ビットレート	128kbps
サンプリング周波数	44.1kHz / 48kHz

動画形式	MPEG1
動画解像度	720×408
動画ビットレート	4Mbps
フレームレート	29.97fps
音声形式	MP2（MPEG-1 Audio LayerⅡ）
音声ビットレート	128kbps
サンプリング周波数	44.1kHz / 48kHz

画像ファイルの場合

画像形式	JPEG（Base Line, JFIF）
画像解像度	720×405

音楽ファイルの場合(静止画オールリピート再生モードのBGM)

音声形式	MP3（MPEG-1 Audio LayerⅢ）
エンコードタイプ	CBR / VBR
音声ビットレート	128kbps
サンプリング周波数	44.1kHz

音声形式	WMA※
エンコードタイプ	CBR / VBR
音声ビットレート	128kbps
サンプリング周波数	44.1kHz

※WMA Pro、WMA Lossless には対応していません。

●音楽ファイルは、静止画オールリピート再生モードの BGM として再生されます。
音楽ファイルのみで再生することはできません。
●音楽ファイルは 1 ファイルのみ保存してください。
複数の音楽ファイルを保存しても、外部メモリーに一番最初に書き込まれたファイルしか再生されません。

●上記は推奨設定であり、すべてのファイル再生を保証するものではありません。
編集ソフトなどにより上記設定でも正常に再生されない場合があります。

使用方法

本項目では使用方法や操作方法について解説します。
設置方法などは、電子POPの設置方法(P.17)をお読みください。

基本操作

電源操作

本項目では電源のオン / オフ、スタンバイの操作方法を紹介します。

主電源をオンにする

本製品右側面の DCジャックに付属の専用ACアダプタを接続し、同じく右側面にある をオンにしてください。画面に「PLEASE WAIT...」と表示された後、自動的に動画および静止画ファイルの再生が始まります。再生順は動画リスト (P.25) の順番です。

●SD メモリーカードが挿入されていない場合「ファイルがありません」と表示され、約10 秒後に表示が消えます。
●動画再生リストの順番は、SDメモリーカードにファイルをコピーした順になります。詳しくは「■動画ファイルをSDメモリーカードへコピーします」（P.31）を参照してください。

主電源をオフにする

本製品の電源がオフ(スタンバイモード)であることを確認し、右側面にある をオフにしてください。

●故障のおそれがありますので、必ず電源オフ(スタンバイモード)であることを確認してから専用 AC アダプタを取り外してください。

電源をオフにする (スタンバイモード)

本製品の電源がオンの状態からリモコンの ON/OFF ボタンを押すとスタンバイモードになります。

●前面 LED はスタンバイ状態でも緑色に点灯します。

電源をオンにする (スタンバイモードから復帰する)

本製品の電源がスタンバイモードの状態からリモコンの ON/OFF ボタンを押すと復帰します。

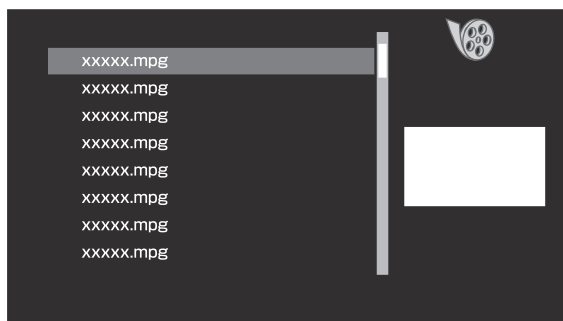
メニュー

本項目ではメニューの機能を紹介します。メニュー画面から本製品の詳細設定が行えます。リモコンの▲▼ボタンで各項目を選択し、決定ボタンを押すと開きます。

① ・・・ 動画ファイルを一覧表示し、再生します。
② ・・・ 基本的な設定ができます。
③ ・・・ 自動的に電源オン / オフする機能が設定できます。
④ ・・・ 動画・静止画の再生モードが選択できます。
⑤ ・・・ スライドショー再生時の設定ができます。
⑥ ・・・ 本項目で決定ボタンを押すと、変更した設定が有効になり、メニュー画面を閉じます。

●約10秒間操作を行わないと、動画または静止画が自動再生されます。

1．動画リスト

本項目を開くと動画ファイルの一覧が以下のように表示されます。

リモコンカーソルの ▲ ▼ ボタンでファイルを選択し、決定ボタンを押すと再生されます。
戻るボタンを押すとファイル一覧画面に戻ります。

■音量調整

再生中にリモコンの ＋ − ボタンを押すと、10 段階で音量調整ができます。

リモコンの 消音 ボタンを押すと消音にできます。

●動画ファイルの一覧は SDメモリーカードにデータが書き込まれた順に再生されます。
●フォルダは認識されません。
●プレビュー表示には映像の 1 コマ目が表示されます。

■明るさ・コントラスト調整

再生中にリモコンの ▲ ▼ ボタンを押すごとに「明るさ」「コントラスト」の表示項目が切り替わります。

「明るさ」「コントラスト」が画面表示されている状態で、リモコンの ◀ ▶ ボタンを押すと 7 段階で調整できます。

2. 詳細設定

本項目を開くと、以下のように表示されます。

① ・・・ 現在日時を設定します。

② ・・・ 「16：9」「4：3」が選択できます。
※推奨再生ファイル形式の解像度（動画:720×408、画像:720×405）以外のファイルは正常に表示されません。(P.21)

③ ・・・ 「English」「日本語」が選択できます。

④ ・・・ ファームウェアバージョンが表示されます。

⑤ ・・・ 工場出荷値に戻します。

●それぞれ、◀ ▶ボタンで項目を移動し、▲ ▼ボタンで設定を変更できます。

■1.「日付時刻設定画面」について

リモコンの ◀ ▶ ボタンで「年」⇔「月」⇔「日」⇔「時間」⇔「分」と移動でき、▲ ▼ボタンで日時の変更ができます。
日時を設定したら 決定 ボタンを押して確定してください。

3. オートパワー機能設定

本項目を開くと、以下のように表示されます。

① ・・・ 「オフ」「オン」が選択できます。

② ・・・ 「時間」「分」を設定します。

③ ・・・ 「オフ」「オン」が選択できます。

④ ・・・ 「時間」「分」を設定します。

⑤ ・・・ 「1 回」「毎日」「平日 (月〜金)」「週末 (土、日)」が選択できます。

●それぞれ、◀ ▶ ボタンで項目を移動し、▲ ▼ ボタンで設定を変更できます。

●②④の操作方法は「■1. 「日付時刻設定画面」について」(P.26) をご覧ください。

●祝祭日には対応していません。

4. 再生モード

本項目を開くと、以下のように表示されます。

① ・・・ 「動画リスト」で選択した 1 つのファイルを繰り返し再生します。

② ・・・ 動画ファイルを順に再生し続けます。

③ ・・・ 静止画ファイルを順に再生し続けます (P.33)。
詳細は「静止画を再生する」(P.33) を参照してください。

④ ・・・ ファイルのプログラム再生リストを設定して、その順に再生し続けます。
詳細は「プログラム再生する」(P.34) を参照してください。

※音楽ファイルは、静止画オールリピート再生モードの BGM として再生されます。
音楽ファイルのみで再生することはできません。

※音楽ファイルは 1 ファイルのみ保存してください。
複数の音楽ファイルを保存しても、外部メモリーに一番最初に書き込まれたファイルしか再生されません。

⑤ ・・・ 静止画ファイルをすべて再生した後に動画ファイルをすべて再生します。
詳細は「ミックス再生する」(P.32) を参照してください。

●それぞれ、◀ ▶ボタンで項目を移動し、▲ ▼ボタンで設定を変更できます。

5. スライド設定

本項目を開くと、以下のように表示されます。

① ・・・ 「5 秒」「10 秒」「15 秒」「30 秒」が選択できます。

② ・・・ 「ランダム」「チェッカーワイプ」「パーティション」「エレガント」「ブラインド」「グリッド」「オン」「クロス」が選択できます。

③ ・・・ 「オン」「オフ」が選択できます。

●それぞれ、◀ ▶ ボタンで項目を移動し、▲ ▼ ボタンで設定を変更できます。
●①は再生モードが「プログラム再生」「ミックス再生」の際は適用されません。5秒で固定されます。
●②は再生モードが「ミックス再生」の際は適用されません。「静止画オールリピート」で適用されます。

●音楽ファイルは、静止画オールリピート再生モードの BGM として再生されます。
音楽ファイルのみで再生することはできません。
●音楽ファイルは 1 ファイルのみ保存してください。
複数の音楽ファイルを保存しても、外部メモリーに一番最初に書き込まれたファイルしか再生されません。

6. 設定完了

本項目で 決定 ボタンを押すと、変更した設定が有効になり、メニュー画面を閉じます。

実際に使用する場合の例

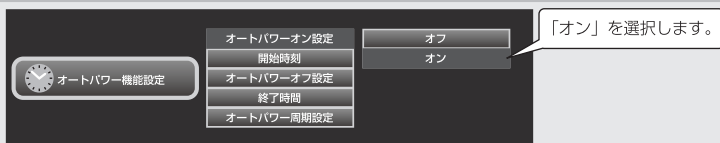
本項目では実際に使用する場合の一例を紹介します。

動画ファイルを自動再生する

■条件の一例

自動的に電源オンさせたい時間	・・・	10：00
自動的に電源オフさせたい時間	・・・	20：00
電源オン / オフの周期	・・・	平日
再生させたいファイル	・・・	動画ファイル４つ

■本製品を以下のように設定します

Step.5「オートパワー周期設定」

オートパワー機能設定

- オートパワーオン設定
- 開始時刻
- オートパワーオフ設定
- 終了時間
- オートパワー周期設定

- 1回
- 毎日
- 平日
- 週末

「平日」を選択します。

Step.6「再生モード」

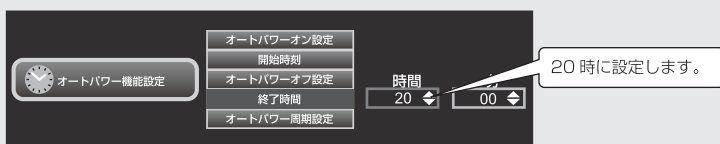
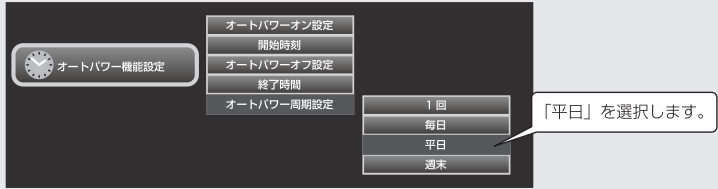
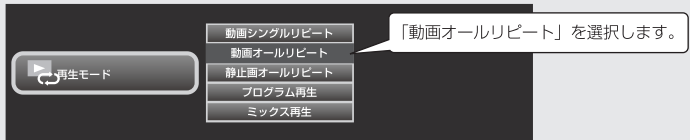
再生モード

- 動画シングルリピート
- 動画オールリピート
- 静止画オールリピート
- プログラム再生
- ミックス再生

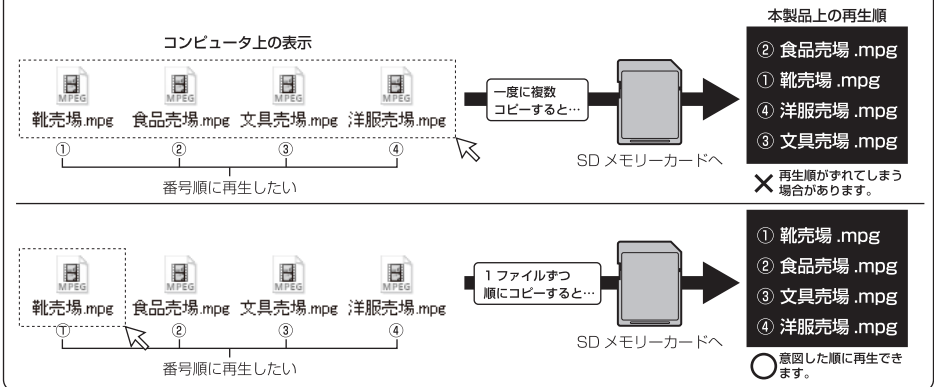
「動画オールリピート」を選択します。

Step.7「設定完了」

- 再生モード
- スライド設定
- 設定完了

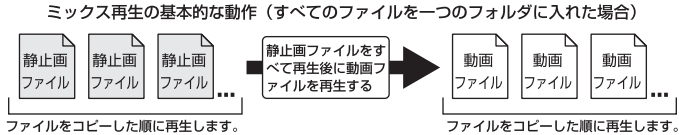
「設定完了」を選択します。

■動画ファイルを SDメモリーカードへコピーします

本製品は SDメモリーカードへファイルをコピーした順に再生されます。

●コンピュータからSDメモリーカードへファイルをコピーする際、ファイルを一度に複数コピーすると、意図した再生順にならない場合があります。
ファイルを意図した再生順に並べたい場合、1ファイルずつ順にコピーしてください。

ミックス再生する

「動画ファイルを自動再生する (P.30)」と同様の条件で動画ファイルと静止画ファイルをミックス再生するには「Step.6」で「ミックス再生」を選択してください。

再生モードでミックス再生を選択した場合、静止画ファイルと動画ファイルを混在して再生します。静止画ファイルをすべて再生した後に、動画ファイルをすべて再生します。

ミックス再生の基本的な動作（すべてのファイルを一つのフォルダに入れた場合）

■動画と静止画を交互に再生する

ミックス再生を使用して、静止画ファイルと動画ファイルを交互に再生できます。下記のように SD メモリーカードにファイルをコピーしてください。

再生させたいファイルの順

静止画ファイルA → 動画ファイルA → 静止画ファイルB → 動画ファイルB → 静止画ファイルC → 動画ファイルC

①〜⑫の順にコピーを行ってください。
コピーする際は、必ず 1 フォルダまたは1ファイルずつ行ってください。

SDメモリーカード

フォルダを作成してSDメモリーカードにコピーする

①〜⑥ フォルダ1〜フォルダ6

フォルダにコピーする

⑦ 静止画ファイルA → フォルダ1
⑧ 動画ファイルA → フォルダ2
⑨ 静止画ファイルB → フォルダ3
⑩ 動画ファイルB → フォルダ4
⑪ 静止画ファイルC → フォルダ5
⑫ 動画ファイルC → フォルダ6

もしも、ひとつのフォルダに複数のファイルがはいっていたら?

●動画もしくは静止画ファイルのみの場合

コピーしたA→Bの順に再生される。

動画ファイルA　動画ファイルB

ファイルをフォルダにコピーした順に再生されます。

●静止画ファイルと動画ファイルが混在している場合

静止画ファイル→動画ファイルの順に再生される。

静止画ファイル　動画ファイル

静止画ファイル→動画ファイルの順に再生されます。

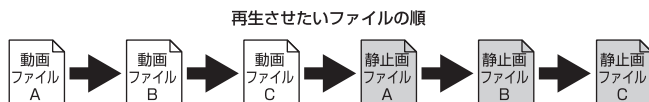
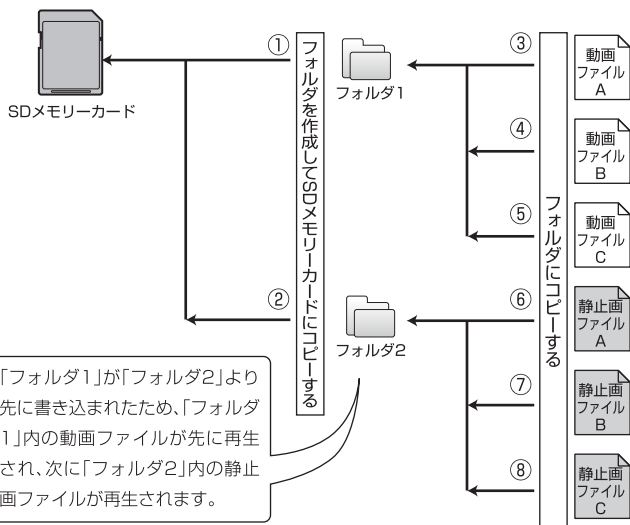
■動画をすべて再生した後に静止画を再生する

ミックス再生を使用して、動画ファイルをすべて再生した後に静止画ファイルを再生します。下記のように SDメモリーカードにファイルをコピーしてください。

再生させたいファイルの順

①〜⑧の順にコピーを行ってください。
コピーする際は、必ず１フォルダまたは1ファイルずつ行ってください。

SDメモリーカード
① フォルダを作成してSDメモリーカードにコピーする ②
フォルダ1
フォルダ2
③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ フォルダにコピーする
動画 ファイル A
動画 ファイル B
動画 ファイル C
静止画 ファイル A
静止画 ファイル B
静止画 ファイル C

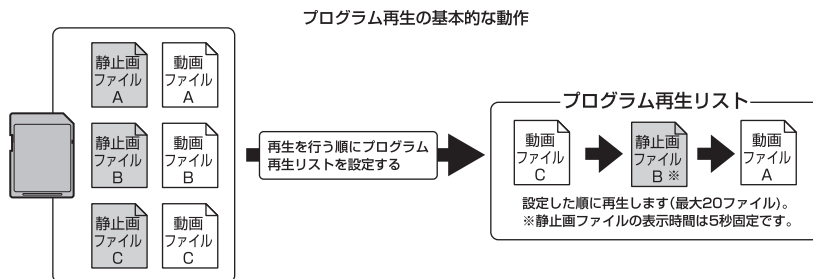
「フォルダ1」が「フォルダ2」より先に書き込まれたため、「フォルダ1」内の動画ファイルが先に再生され、次に「フォルダ2」内の静止画ファイルが再生されます。

静止画を再生する

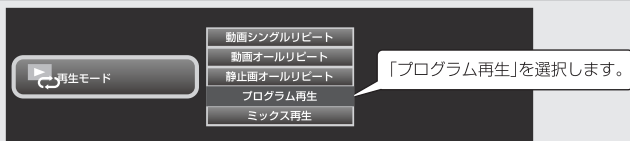
静止画ファイルをミックス再生するには P.31 の「Step.6」で「静止画オールリピート」を選択してください。
約 10 秒間操作を行わない状態にすると、SDメモリーカードに書き込まれた順に静止画がスライドショー再生されます。

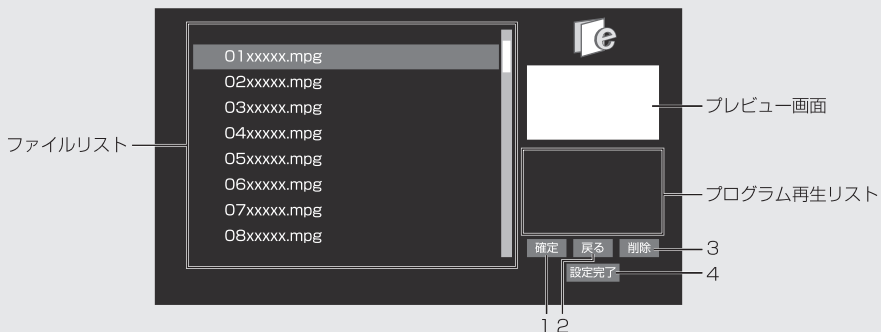
プログラム再生する

「動画ファイルを自動再生する (P.30)」と同様の条件でプログラム再生するには「Step.6」で「プログラム再生」を選択してください。

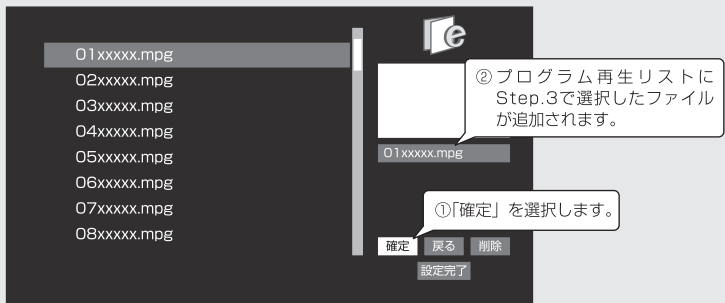
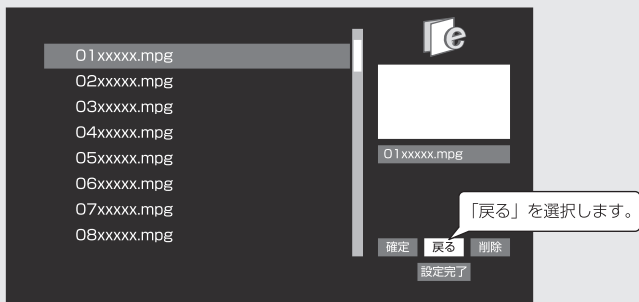
ファイルをプログラム再生リストを設定して、そのリストの順にファイルを再生します。
プログラム再生リストには動画ファイル、静止画ファイルを混在して設定することができ、最大20ファイルまで設定できます。

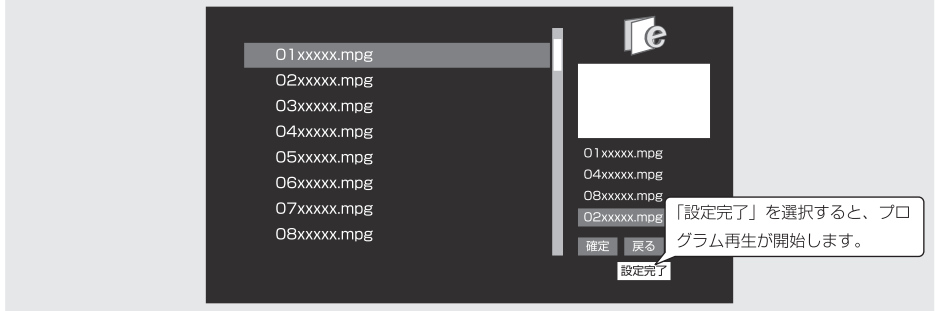
プログラム再生の基本的な動作

■プログラム再生リストの設定方法

Step.1「オートパワーオン設定」

Step.2「プログラム再生画面」

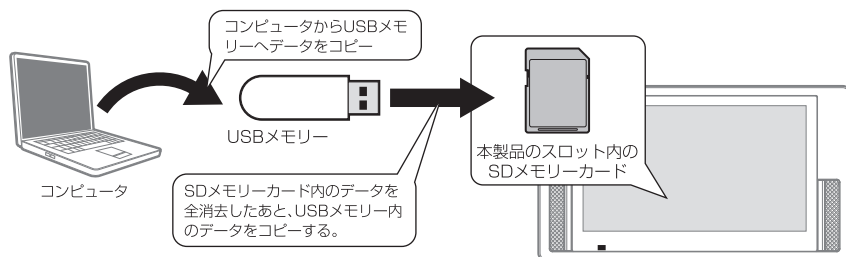
下記の画面が表示されます。

1 ・・・ ファイルリストから選択したファイルをプログラム再生リストに追加します。
2 ・・・ カーソルをプログラム再生リストからファイルリストに移動します。
3 ・・・ プログラム再生リストで選択しているファイルをリストから削除します。
4 ・・・ 設定を完了して、プログラム再生を開始します。

Step.3「ファイルリストから選択する」

Step.4「ファイルを確定する」

Step.5「ファイルリストにカーソルを戻す」

Step.6「ファイルの設定を繰り返す」

Step.3 ～ Step.5 を繰り返して、プログラム再生するファイルを設定してください。

■プログラム再生リストからファイルを削除する

USBメモリーでデータを入れ替える

本製品は USBメモリーを使用して、SDメモリーカード内のデータを入れ替えることができます。本項目ではデータの入れ替え方法を紹介します。

Step.1

SDメモリーカード内のデータは消去されますので、データの確認を行ってください。

消去したくないデータがある場合、データのバックアップを行ってください。

Step.2

コピーしたいデータが入った USBメモリーを用意してください。

USBメモリー内の入れ替え用データは、ご使用するSDメモリーカードの容量を超えないようにしてください。

Step.3

本製品の ▥■ がオフの状態で SDメモリーカードと USBメモリーを挿入してください。

Step.4

本製品の ▥■ をオンにするとデータの消去とコピーが開始され、画面に「PLEASE WAIT. . . 」と表示されます。※1

Step.5

データのコピーが終了すると本製品が起動します。動画や静止画が再生された場合は、再生を停止し、メニュー画面を表示してください。※2

▥■ をオフにして USBメモリーを取り外してください。

Step.6

以上でデータの更新は終了です。

※1：ファイルによってコピーに時間がかかる場合があります。
　　コピー中に電源をオフにしたり、外部メモリーを取り外さないでください。

※2：設定によって動画ファイルや静止画ファイルが再生される場合があります。

●データを入れ替えた際の動画リストの順番は、SDメモリーカードと同じく USBメモリーにファイルをコピーした順になります。詳細は「■動画ファイルを SDメモリーカードへコピーします」(P.31) を参照してください。

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

電源が入らない	●ACアダプタのプラグをコンセントへしっかりと差し込まれているか確認してください。
リモコンがきかない	●電池の＋、－の向きを確認してください。(P.16) ●電池が消耗している場合は新しいものと交換してください。(P.16) ●リモコンを本製品の受信部に向けて操作してください。(P.15) ●リモコンと受信部の間の障害物を取り除いてください。(P.15)
画像ファイルが表示されない	●本製品で対応しているメモリーカードか確認してください。(P.13) ●本製品で対応しているファイル形式か確認してください。(P.21)
音楽ファイルが再生できない	●本製品で対応しているメモリーカードか確認してください。(P.13) ●本製品で対応しているファイル形式か確認してください。(P.21) ●音量レベルを確認してください。(P.16) ●消音になっていないか確認してください。(P.16) ●DRMによる著作権保護が有効なファイルは再生できません。(P.14)
動画ファイルが再生できない	●本製品で対応しているメモリーカードか確認してください。(P.13) ●本製品で対応しているファイル形式か確認してください。(P.21) ●動画ファイルのビットレートや解像度が高い場合は下げてください。(P.21)
USBメモリーでデータの入れ替えができない	●入れ替えるデータの容量が、使用しているSDメモリーカードの容量を超えていないか確認してください。(P.37)

仕様

製品型番	GH-EP7RAW
スクリーン	7インチTFT液晶
解像度	800×480 pixel（アクティブエリア：720×408）
コントラスト比	500：1
輝度	250cd/㎡
対応外部メモリー	SDメモリーカード(2GB)/SDHCメモリーカード(4GB～32GB) USBメモリー(2GB～32GB) ※SDスピードクラスがClass10のSDメモリーカード/SDHCメモリーカードには対応しておりません。
再生可能フォーマット	画　像：　JPEG 音　楽：　MP3(CBR/VBR)/WMA(CBR/VBR)※ 動　画：　MPEG1/MPEG2 ※WMA Standard V2のみ対応
対応言語	日本語/英語
電源（ACアダプタ）	入　力：　AC100V 50/60Hz 出　力：　DC5V/2.0A
消費電力	最大10W（製品本体のみ）
搭載端子	音声出力端子、SDカードスロット、USB端子
スピーカー	2W + 2W
動作温度範囲	0℃～40℃
動作湿度範囲	5%～85%(結露なきこと)
外形寸法	W215 × D26 × H120 (mm)
重量	約400g（本体のみ）
製品構成	・GH-EP7RAW 本体　1台 ・専用ACアダプタ　1個 ・専用リモコン　1個 ・リモコン用ボタン電池「型番：CR2025 (3V)」　1個 ・メモリー盗難防止カバー（ネジ・ワッシャー付き）　1個 ・ACプラグ抜け落ち防止金具（ネジ・ワッシャー付き）　1個 ・専用ステー(ネジ付き)　1台 ・1年間保証書　1部 ・取扱説明書(本書)　1部

故障について

故障については、下記のサポート窓口へご相談ください。

サポート窓口	グリーンハウス テクニカルサポート
テクニカルサポートダイヤル	03-5421-0580
受付時間	10:00 ～ 12:00 / 13:00 ～ 17:00(土日祝日をのぞく弊社営業日)
FAX	03-5421-2266（24 時間受付）
住所	〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿 1-19-15 ウノサワ東急ビル 5 階
ホームページ	http://www.green-house.co.jp/

・ 故障やご使用上のご質問は、テクニカルサポートダイヤルへお電話いただくか、弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」や FAX でお問い合わせください。
・ 弊社ホームページにあるサポート「各種お問い合わせ」からお問い合わせの場合、ユーザー登録が必要になります。
・ お問い合わせの前に、取扱説明書「トラブルシューティング」や弊社ホームページにあるサポート「よくあるご質問」をご活用ください。
・ テクニカルサポートダイヤルの受付時間は、予告なしに変更する場合があります。

・本製品は、日本国内専用に製造および販売されています。
・本製品は、日本国外では使用できません。
・本製品を日本国外で使用することによるいかなる問題に対しても、責任を負いかねます。
・本製品は、日本国外での技術サポートおよびサービスは行っておりません。
・This product is manufactured and sold for Japanese domestic market only.
・This product can not be used outside Japan.
・We have not responsibility for any issues caused by the use of this product outside Japan.
・We also do not have any technical support and service for this product in other countries.

※製品のデザイン、仕様は改良などにより、予告なしに変更する場合があります。
※本書の内容は、予告なしに変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

※本書について、お気づきの点がありましたら、弊社サポート窓口へお問い合わせください。

GH-EP7RAWシリーズ

GREEN HOUSE™ 株式会社 グリーンハウス

〒150-0013　東京都渋谷区恵比寿1-19-15 ウノサワ東急ビル5階
テクニカルサポートダイヤル TEL : 03-5421-0580
グリーンハウスホームページ : http://www.green-house.co.jp/

Ver.2.0